



試験結果報告書

株式会社 ユータック 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司
〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3



依頼No. 215133

報告日：2021年6月30日

支部長	担当者

品 名	NALEXIBLE ノーマルタイプ / UNクリアコート塗布品	試料受付日	2021年4月7日
	NALEXIBLE サンドストーンタイプ マーブルタイプ / UNクリアコート塗布品	試料採取日	— 年 — 月 — 日
		試料採取場所	—
製造者	株式会社 ユータック	試料数量	試験片 各3枚

1. 試験項目及び試験方法

(1) 試験項目：耐湿試験

試験方法：JIS K 5600-7-2：1999 耐湿性（連続結露法） 4. 温度差固定式 に準ずる。

試験時間：168時間

試験片数：各1枚

評価項目：膨れ、割れ、はがれ、変色および光沢低下の有無

(2) 試験項目：促進耐候性試験

試験方法：JIS K 5600-7-7：2008 促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法） に準ずる。

試験条件：方法：方法1（促進耐候性）

試験片ぬれサイクル：サイクルA

試験時間：500時間

試験片数：各1枚

評価項目：膨れ、割れ、はがれ、変色および光沢低下の有無

(3) 試験項目：温冷繰返し試験

試験方法：JIS A 6909：2014 建築用仕上塗材 7.11 温冷繰返し試験 に準ずる。

試験片数：各1枚

評価項目：膨れ、割れ、はがれ、変色および光沢低下の有無

余 白



試験結果報告書

株式会社 ユータック 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司

〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

依頼No. 215133

2. 試験結果

試験結果を表1および表2に示す。

表1 試験結果
(NALEXIBLE ノーマルタイプ / UNクリアコート塗布品)

試験項目	試験結果
耐湿性 (168時間)	異常を認めない
促進耐候性試験 (500時間)	膨れ、割れ、はがれ、光沢低下を認めない 変色：等級2※
温冷繰返し試験	異常を認めない

表2 試験結果
(NALEXIBLE サンドストーンタイプ マーブルタイプ / UNクリアコート塗布品)

試験項目	試験結果
耐湿性 (168時間)	異常を認めない
促進耐候性試験 (500時間)	膨れ、割れ、はがれ、光沢低下を認めない 変色：等級2※
温冷繰返し試験	異常を認めない

※ JIS K 5600-4-3 : 1999 色の目視比較 附属書B (規定) 色差等級表
表B.1 目視評価のための色差成分の等級表 による。

等級2：わずか、しかし明らかに知覚できる差

以上

依頼 No. 215133

促進耐候性試験前後の色差(ΔE^*_{ab})測定

NALEXIBLE ノーマルタイプ No. 5013-サンジャニホワイト/クリアコート塗布品



写真 1. 促進耐候性試験前



写真 2. 促進耐候性試験 500 時間後

測点 1 : $\Delta E^*_{ab}=3.8$

測点 2 : $\Delta E^*_{ab}=5.6$

測点 3 : $\Delta E^*_{ab}=3.9$

(※ 試験片の色が均一でないため、数値は参考値とする。)

NALEXIBLE サンドストーンタイプ No. 2018-レインボー/クリアコート塗布品

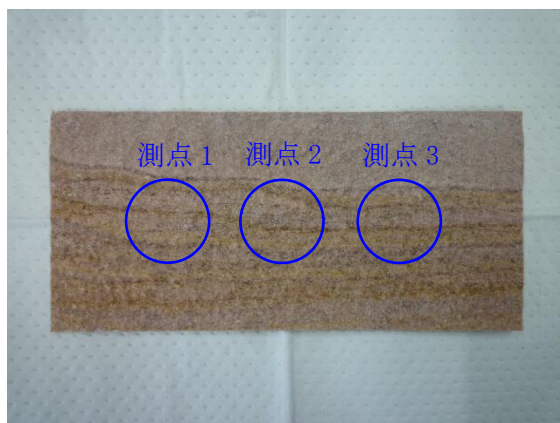


写真 3. 促進耐候性試験前

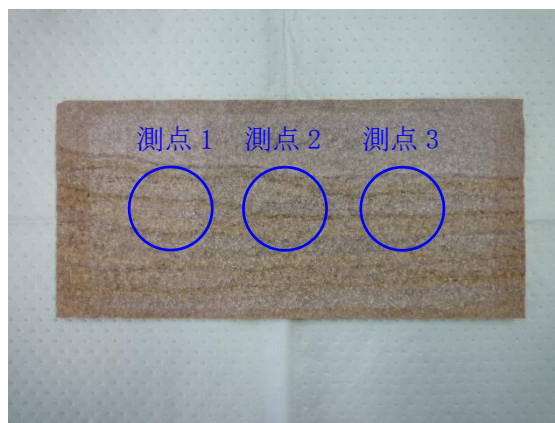


写真 4. 促進耐候性試験 500 時間後

測点 1 : $\Delta E^*_{ab}=6.7$

測点 2 : $\Delta E^*_{ab}=7.6$

測点 3 : $\Delta E^*_{ab}=6.7$

(※ 試験片に凹凸がありかつ色が均一でないため、数値は参考値とする。)

以上